

世界アマチュアゴルフチーム選手権 日本代表の紹介 ～男子代表選手について～

1984年大会に続いて、2度目の優勝を狙う男子チーム。競技者育成強化推進本部男子ナショナル強化部会は、日本アマ終了後の日本アマチュアゴルフランキングを基に、下記3名を代表に選考しました。ここ数年、苦戦が続く男子チームですが、本年はホスト開催の利を活かして、2度目の優勝を期して、本選手権に臨みます。

【男子日本代表】

小西 健太 (東北福祉大学 2年)

瀬戸内高校時代から JGA ナショナルチームの一員として数多くの国際競技に日本代表として出場してきた小西健太 (東北福祉大学 2年)。世界アマは前回大会に続いて 2 度目の出場となります。より高いレベルを目指してスウィング改造に取り組んできた小西も、ようやく新しいスウィングも身に付き、持ち前の安定感を取り戻しつつあります。男子チームで唯一人世界アマを経験している小西。これまでの経験と新スウィングを武器に、チームのエースとして活躍を期します。

小木曾 喬 (福井工業大学附属福井高校 3年)

今年の世界アマチュアゴルフ選手権を制し、日本選手史上最年少優勝記録を更新した小木曾喬 (福井工業大学福井高校 3年) が、後期男子 JGA 男子ナショナルチームメンバーに選考されるとともに、世界アマ日本代表に決定しました。今年の小木曾は、中部アマで 3 位タイの成績を残すと、日本アマのマッチプレー 1 回戦で同じ中部のライバル、白石大和を 2and1 で下して波に乗ると、準決勝では優勝候補の古田幸希を 1up、決勝では比嘉一貴を 36 ホールの熱戦の末に 1up で退けて戴冠。10 代とは思えない冷静な試合運びと得意のショートゲームが光りました。日本代表として初めて臨む大舞台でも、活躍が期待される有望選手です。

小浦 和也 (専修大学 4年)

小浦和也 (専修大学 4年) は昨年、日本オープンゴルフ選手権でローアマチュアを獲得したほか、日本代表としてタイで開催されたノムラカップアジア太平洋アマチュアゴルフチーム選手権に出場。本年も九州アマチュアゴルフ選手権で悲願の初優勝を果たし、JGA 男子ナショナルチーム初戦のネイバーズチーム選手権に日本代表として出場しました。本選手権は初出場となりますが、日本チームのリーダーとして、ホスト国優勝の中心選手としての活躍を期しています。